

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 シェルター居室等環境整備事業
-------------------	-----------------------------

区分	番号	名 称						
章 節	1	やさしさと共生するまち						
	4	男女共同参画社会の実現						
施策	1	男女の人権が尊重される社会の実現						
	2	女性の人権保護						
小分類	2	女性の人権保護						
主要な施策	1	配偶者・パートナーからの暴力に関する相談及び支援体制の充実						
事務事業番号	002	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td style="background-color: #f4b084;">事務事業コード</td> <td>14121002</td> <td style="background-color: #f4b084;">事業開始年度</td> <td>平成 2 2 年度</td> <td style="background-color: #f4b084;">事業終了年度</td> <td>平成 2 2 年度</td> </tr> </table>	事務事業コード	14121002	事業開始年度	平成 2 2 年度	事業終了年度	平成 2 2 年度
事務事業コード	14121002	事業開始年度	平成 2 2 年度	事業終了年度	平成 2 2 年度			

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	シェルター居室等環境整備事業補助金
------	------	------------	-------------------

部 名	市民生活部	グループ名	市民サービス G
-----	-------	-------	----------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">(事務事業の実施目的を具体的に記載してください)</p> 女性の人権保護として、配偶者やパートナーなどの親密な関係にある者からの暴力から逃れる女性の心身の安全確保や自立のための支援を行なう民間シェルター（NPO法人ウイメンズネット・マサカーネ）が運営するDVシェルターの居室等の備品が老朽化しており、備品の購入に係る円滑な運営を図るために補助金を支給する。
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください)</p> 国の平成 2 2 年度補正予算において、地域活性化交付金（住民生活に光をそそぐ交付金）を利用して、NPO法人「ウイメンズネット・マサカーネ」が実施するDV対策自立支援事業を室蘭市・登別市・伊達市が連携して支援した。 【シェルター室内及び事務所内の備品の購入整備】 <ul style="list-style-type: none"> ・コピー兼FAX複合機 1 台（事務所用） ・ベッド（部屋用） ・ベッド用マットレス（部屋用） ・タオルその他寝具（部屋用） ・テレビ（地デジ対応・部屋及び共有スペース用） ・炊飯器 1 升炊き 2 台（共有スペース用） ・調理器具（キッチンの備品で痛みの激しいもの・共有スペース用） ・幼児用遊具（入居中の子供のための遊具・共有スペース用）
成果	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">(事務事業の実施成果を具体的に記載してください)</p> DV被害者の避難中の生活環境の改善と事務効率を上げることで、女性の人権擁護により多く貢献することができた。
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)</p> 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	プライバシー保護度	%	目標値	100				
			実績値	100	/	/	/	/
				目標値				
				実績値		/	/	/

事業費の推移

区 分			単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称 地域活性化・住民生活に光をそそぐ臨時交付金	千円	638					0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円						0
合 計				638	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	66	0			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		66	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 本事業は、平成22年度で終了。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ カーテンやテレビの設置により家族で利用できる個室として整備によりプライバシーが保護され、被害者の生活環境が改善されたと考えます。また、事務所の整備を行なったことで事務処理、サービス提供がスムーズに進んだと考えます。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 今後、維持管理をより充実することにより、被害者の安定した状態での継続的な支援を行うことができると考えます。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 本事業は、平成22年度で終了。

担当グループによる評価

終 了	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	国の平成22年度補正予算において、地域活性化交付金（住民生活に光をそそぐ交付金）を利用した3市（室蘭・登別・伊達）での事業補助であるため終了。
-----	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終 了	備考
-----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）